

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事報告書

開始 日 時	平成 30 年 10 月 17 日 (水)	18 時 15 分
終 了 日 時	平成 30 年 10 月 17 日 (水)	20 時 00 分
名 称	第 66 回 CPD 合同勉強会	
主 催 者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部 (千葉県庁の企画に合同参加)	
開 催 場 所	千葉市文化センター 5 階 セミナー室 (千葉市中央区中央 2-5-1)	
行 事 内 容	挨拶 (主催者側 代表) 講演: 「ダムのはなし」 講師: (一般財団法人) ダム技術センター 顧問 藤澤侃彦 氏	
参 加 人 数	日本技術士会千葉県支部 13 名 (全体では 89 名)	

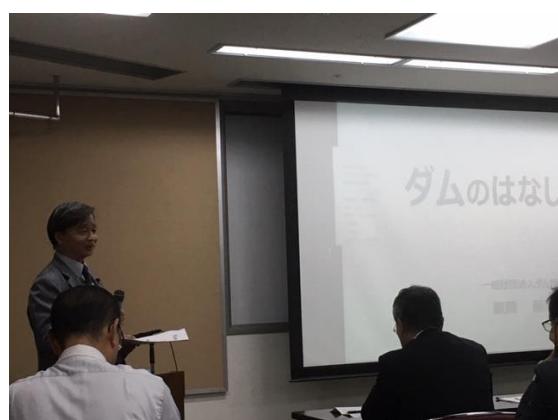
第 66 回 CPD 合同勉強会は、10 月 17 日 千葉市文化センター 5 階 セミナー室 (千葉市中央区中央 2-5-1) で行われ、千葉県の企画により、ダム技術の研究に長年携わってこられた一般財団法人ダム技術センター 藤澤顧問をお招きし、「ダムのはなし」を伺いました。

講演には、千葉県支部 (13 名) と 船橋市技術士会及び千葉工大技術士会が合同で参加しました。

講演の内容は、ダムは治水利水等の多大な効果・恩恵を発揮しており、その技術は高度である。ダム建設においては、材料の合理化、設計の合理化、施工の合理化が進められており、堤体材料として、建設現場周辺で手近に得られる風化岩、河床砂礫や段丘堆積物等の岩石質材料 CSG (Cemented Sand and Gravel) を用いた工法を主体に、環境に配慮したダム技術や技術者の取り組みなど、最新のダム開発技術の現状を大変わかりやすくご紹介いただきました。



講演 全景



講演中の藤澤侃彦氏

以上